

江戸時代の粋に遊ぶ その十

義太夫

義太夫を知ると歌舞伎や落語がよくわかる!

二〇一四年

十月十八日(土)

開演 午後二時 (開場 午後一時半)

会場 東海道かわさき宿交流館

四階 集会室

料金 一五〇〇円 (実演+ワークショップ付き)

「義経千本桜」から「椎の木の段」

浄瑠璃 竹本越若 三味線 鶴澤賀寿

対談 義太夫の魅力はどこに?

聞き手 山縣 基与志

義太夫ひとくちお稽古

お問い合わせ 東海道かわさき宿交流館 044-280-7321

主催 東海道かわさき宿交流館

後援 NPO法人川崎歴史ガイドの会

かわさき芸術倶楽部

企画制作 公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会「芸団協」

協力 一般社団法人 義太夫協会

東海道かわさき宿交流館の自主企画事業は皆様の寄付金をもとに実地されています

初代竹本綾之助
提供：四代目竹本綾之助



写真：福田和弘

浄瑠璃 竹本越若 (たけもと こしわか)

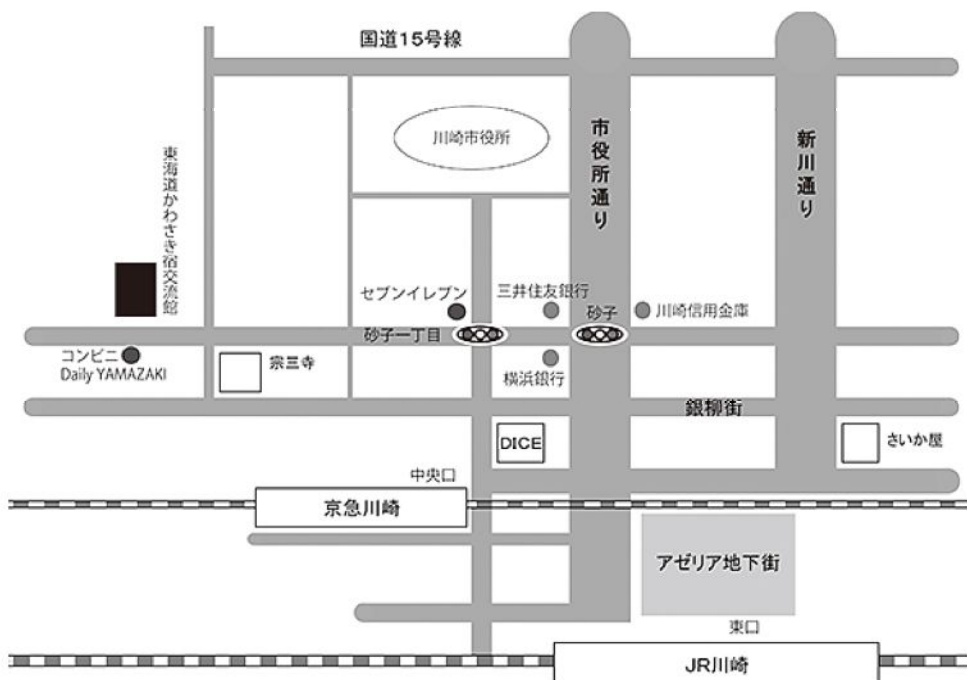
福島県出身
義太夫教室第25期修了。昭和48年故竹本越道入門。49年本牧亭にて初舞台。昭和50年義太夫協会新人奨励賞。60年豊澤仙廣賞。義太夫協会主催女流義太夫演奏会への出演、各種学校巡回公演の他、長年自主企画公演に取り組み、義太夫節の普及に努めている。

三味線 鶴澤賀寿 (つるざわ かず)

大阪府出身。
義太夫教室第48期修了。平成9年竹本駒之助入門。10年8月国立演芸場「釣女」の大名役にて初舞台。16年3月義太夫協会新人奨励賞。ひとみ座乙女文楽ロシア公演・ワシントン桜まつり等、海外公演にも参加。

義太夫は330年ほど前に、竹本義太夫が作り上げた浄瑠璃（語り物の音曲）です。人形芝居や歌舞伎と共に発展し、常磐津、清元、小唄といった他の邦楽にも影響を与えています。落語にも題材として多く取り上げられていますし、明治・大正時代に娘義太夫は「元祖アイドル」として人気を博していました。娘義太夫は時代と共に女流義太夫と名を変え、今では伝統芸能の一つのジャンルとなっています。

義太夫がわかると歌舞伎や落語が何杯も楽しくなります。皆さんもちょっとお稽古してみませんか？



東海道かわさき宿交流館
川崎区本町一丁目181-4
044-280-7321